

参加校

北海道札幌南高等学校
青森県立青森高等学校
八戸聖ウルスラ学院中学・高等学校
岩手県立盛岡第一高等学校
岩手県立一関第一高等学校
秋田県立角館高等学校
山形県立山形東高等学校
茨城県立竹園高等学校
茨城県清真学園高等学校・中学校
栃木県立宇都宮高等学校
栃木県立宇都宮東高等学校
栃木県立佐野高等学校
群馬県立前橋高等学校
埼玉県立浦和高等学校
埼玉県立浦和第一女子高等学校
さいたま市立浦和高等学校
千葉県立千葉高等学校
翔凛高等学校
東京都立日比谷高等学校
東京都立小石川中等教育学校
東京都立両国高等学校・東京都立両国高等学校附属中学校
筑波大学附属駒場中・高等学校
渋谷教育学園渋谷中学高等学校
豊島岡女子学園中学高等学校
富士見中学高等学校
神奈川県立湘南高等学校
神奈川県立横浜翠嵐高等学校
神奈川県立柏陽高等学校
神奈川県立相模原高等学校
浅野学園中学高等学校
栄光学園中学高等学校
聖光学院中学校高等学校
洗足学園中学高等学校
湘南白百合学園中学・高等学校

富山国際大学付属高等学校
福井県立藤島高等学校
長野県長野高等学校
長野県松本県ヶ丘高校
長野県松本深志高等学校
岐阜県立岐阜高等学校
愛知県立岡崎高等学校
三重県立四日市高等学校
滋賀県立彦根東高等学校
立命館守山中学校高等学校
京都府立嵯峨野高校
京都府立鳥羽高等学校
大阪府立北野高等学校
大阪府立豊中高等学校
大阪教育大学附属高等学校平野校舎
神戸大学附属中等教育学校
雲雀丘学園中等高等学校
奈良県立奈良高等学校
鳥取県立倉吉東高等学校
岡山県立岡山大安寺中等教育学校
山口県立山口高等学校
山口県立宇部高等学校
徳島県立城ノ内高等学校
香川県立高松高等学校
福岡県立城南高等学校
鎮西学園 真和高等学校
熊本県立八代高等学校
熊本県立第一高等学校
鹿児島県立鹿児島中央高等学校
鹿児島県立大島高等学校

神奈川県立多摩高等学校(Swing)

合計65校

キーノートスピーカー



西山 誠慈氏
ウォール・ストリート・ジャーナル
日本版編集長



芳村 圭氏
東京大学
生産技術研究所 教授



伊藤 羊一氏
ヤフー株式会社
コーポレートエバンジェリスト
Yahoo!アカデミア 学長
株式会社ウエイウェイ 代表取締役



文部科学省後援 第5回 PDA高校生 即興型英語ディベート 全国大会

The 5th PDA High School Parliamentary Debate
National Competition

2019年12月21日(土)・22日(日)

—会場—

東京大学 本郷キャンパス 工学部2号館

【主催】一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

【共催】東京大学生産技術研究所、
公立大学法人大阪 大阪府立大学、
JST未来社会創造事業「持続可能な社会の実現」領域
『「知」の循環と拡張を加速する対話空間のメカニズムデザイン』プロジェクト

【後援】文部科学省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、
全国高等学校長協会、
一般社団法人日本英語交流連盟、
一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟

【協賛】東京大学生産技術研究所次世代育成オフィス (ONG)

【助成】公益財団法人 日本財団、
公益財団法人 KDDI財団



ごあいさつ

東京大学生産技術研究所 所長・教授

第5回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会が盛大に開催されますことを共催団体として大変嬉しく思います。人生は長く、多くの経験を重ねることで人は成長していきます。その過程では、成功体験も失敗体験も重要で、苦い経験から学べることも多いです。本大会に意欲的に取り組まれている皆さんのチャレンジは、きっと皆さんを大いに成長させることでしょう。“ends and means”、目的と手段。何れも大事ですが、目的を達成するための手段です。今は、英語ディベート力の向上を目的として研鑽を積み、将来、培った論理的思考力・英語力・人間力を発揮して、それぞれの目標に向かって皆さんが社会で大いに活躍されることを祈念いたします。



東京大学生産技術研究所 所長・教授
岸 利治 (きし としはる)

PDA代表理事

文部科学省後援のPDA高校生即興型英語ディベート全国大会は、おかげさまで第5回目の開催となります。2015年の第1回は24校36チーム、2016年40校64チーム、2017年以降は受入最大数64校(+補欠校)の規模で発展しています。

本大会で取り扱う即興型英語ディベートは、次期学習指導要領を見据え、授業導入可能な形式に標準化されており、文部科学省助成事業や教育委員会等における教員研修にも導入されています。また、本大会共催であるJSTの研究プロジェクトを通し、工学的にも設計考察がなされています。

さて、データを覚えたり、過去の事例を探したりすることはAIの最も得意とすることです。しかし、今のところ、文章の意味を理解し、論理を組み立てることはAIの苦手とするところです。よって、これから我々は暗記などAIの得意とするところで勝負をするのではなく、人間としての強みをさらに鍛えていく必要があります。即興型英語ディベートでは、誰にでもわかるよう丁寧に論理を説明することはもちろん、聴衆が納得できる道徳的な考察、また聴衆を惹きつける紳士的な態度まで鍛える機会に恵まれます。限られた会議時間などでは、最も重要なことを簡潔に述べ、論点を的確に素早く整理する力が重要となります。このように、将来に役立つスキルを磨く一つの機会として、即興型英語ディベートが公に活用されることを願っています。

最後に、常日頃よりご理解・ご支援いただいております全国の校長先生方はじめ、本大会へのご出場の生徒、教員、PDA認定教育ジャッジの皆様、また本大会開催にあたりご協力いただきました関係各位に心より感謝申し上げます。



一般社団法人パラメンタリーディベート
人財育成協会 (PDA) 代表理事
中川 智皓 (なかがわ ちひろ)
大阪府立大学
工学研究科機械工学分野 准教授
東京大学生産技術研究所 協力研究員
国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)
戦略的創造研究推進事業
さきがけ研究員(兼任)

タイムスケジュール

12月21日(土)

- 12:30 受付
- 13:00 開会式、対戦表発表
- 13:20 ジャッジブリーフィング
- 13:30 R1 論題発表、準備
- 13:45 R1 ラウンド実践
- 14:05 R1 ジャッジ
- 14:45 R2 論題発表、準備
- 15:00 R2 ラウンド実践
- 15:20 R2 ジャッジ
- 15:50 レクチャー
- 16:30 R3 論題発表、準備
- 16:45 R3 ラウンド実践
- 17:05 R3 ジャッジ
- 17:45 R4 論題発表、準備
- 18:00 R4 ラウンド実践
- 18:20 R4 ジャッジ(クローズ)
- 18:30 終了

12月22日(日)

- 9:30 受付
- 10:00 準々決勝進出チーム、ジャッジの発表
- 10:30 準々決勝論題発表、準備、
キーノートレクチャー①
- 10:45 準々決勝ラウンド実践
- 11:10 昼休み
- 12:10 準決勝進出チームの発表
- 12:15 準決勝論題発表、準備、
キーノートレクチャー②
- 12:30 準決勝ラウンド実践
- 12:50 休憩
- 13:15 決勝進出チームの発表
- 13:20 決勝論題発表、準備、
キーノートレクチャー③
- 13:35 決勝ラウンド実践、
3位決定ラウンド実践
- 14:00 休憩
- 14:15 表彰式
- 15:00 終了

文部科学省・外務省後援

第5回PDA高校生パラメンタリーディベート世界交流大会

優勝・準優勝・第3位、授業導入優秀校の合計約6校に、2020年1月開催の第5回PDA高校生パラメンタリーディベート世界交流大会への出場権を進呈します。

[日程] 2020年1月17日(金)～1月19日(日)

[場所] ホテル日航関西空港(関空直結のホテルです)

[参加国] 海外より12か国、日本より6チーム程度

